

013

ペット用災害備蓄食の開発・販売を行う「JARA プロジェクト」

取組主体

株式会社グリーンデザイン&コンサルティング

従業員数

12 人

想定災害

全般

実施地域

東京都

- ペット用の長期保存食を開発、販売。アジア最大のペットに関する展示会への出展等、ペット用の災害食の啓蒙活動を行っている。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

これまでになかったペット用の長期保存食の開発、販売

- 防災備蓄用の保存食品の販売を手掛ける株式会社グリーンデザイン&コンサルティングは、ペット用災害備蓄食を開発した。東日本大震災当時、福島県の旧警戒区域内には多数の犬が取り残され、災害時におけるペット対応は社会的な問題となった。また、日本国内の避難所は、ペットと共に避難できたとしても、ペットフードの備蓄はほぼ行っていないという現状がある。
- 同社は、人が口にする保存食は近年目覚ましい進化を遂げたにもかかわらず、ペット用の保存食がほぼ皆無であることに課題意識を持ち、「愛犬たちにも、オーナー様たちにも喜ばれる安心安全な防災備蓄用ペットフードを作りたい」というコンセプトのもと、「JARA プロジェクト」を立ち上げ、ペット用防災備蓄食の開発を開始した。
- 同社は、ペットフードを提供するメーカー探しと並行して、約 20 年にわたり全国 240 の自治体で採用されている保存水・保存食の製造及び自衛隊用戦闘糧食 II 型・保存水の製造実績を有する株式会社グリーンケミーと共に、いろいろな形態のペットフードのレトルトパウチ加工を施し、長期保存への適性や動物の食いつき等の実証実験を繰り返した。
- そのような中で、オーストラリアで生産し国内販売を展開するドッグフードメーカー、ビィ・ナチュラル株式会社より、長期保存加工用の許可認定を取得することができた。これに株式会社グリーンケミーのレトルトパウチ加工（加圧加熱殺菌）技術を施した「7 年保存レトルトドッグフード」が完成し、令和 2 年より販売を開始した。国内において災害備蓄用長期保存ペットフードは他に見当たらず、令和 3 年 10 月時点で唯一無二の製品となっている。
- 同社は東京ビッグサイト等で行われるビジネスショー（ペットショー他）にも複数回出展し、同社が開発している人向けの保存食の紹介と合わせて「ペット防災」のコーナーを設置し、普及活動を実施した。



JARA プロジェクトのロゴ



7 年保存レトルトドッグフード

2 取組の平時における利活用の状況や防災・減災以外の効果

- 発売開始後、アジア最大の「インターペット」等の展示会出展のほか、ペット雑誌数誌に自主広告を打つなど、啓蒙広報に努めていることで、同社サイトからの販売数は増加し、問屋や小売店からの問合せ数も増加傾向にある。

3 現状の課題・今後の展開等

- 現状では避難所にペットと同行避難してもペットフードの備蓄は無いため、全国の避難所で「ペットフード備蓄」の道筋を作るべく活動していきたいと考えている。

担当者の声

- 発災時に、ペットの命を救えるのは飼い主だけです。被災するときはペットも同様ですので、責任ある準備を是非お願いします。

問合せ先

株式会社グリーンデザイン&コンサルティング 法人番号：4010901043935
TEL：03-5787-6964 FAX：03-5787-6510 E-Mail：info@gdac.tokyo

サイト URL

